

都市・ひと・自然を考える

10月4日は都市ビル環境の日

2009

第15回

都市ビル環境の日

行事プログラム

今年のテーマ 「エコ都市への挑戦」
～あなたにもできるゴミリサイクル～



RECYCLE OUR RESOURCES

社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

コミュニティの快適な環境創造をめざして

For a comfortable environmental creation of the community

10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは、巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の場としての事務所ビル、生活の場としての高層住宅ビル、余暇の場としての興業場ビル、健康回復の場としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全かつ衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸いにして自然と身近に接する環境に恵まれています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりを積極的にアピールしていきます。

2009年度の
テーマ

「エコ都市への挑戦」

～あなたにもできるゴミリサイクル～

私たちは大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムの下で、豊かな暮らしを実現しました。しかし、その一方で、地球上の限りある資源を浪費するとともに、大量のごみを産み出し、ダイオキシンの発生や不法投棄、さらには地球温暖化問題など様々な環境問題を引き起こしています。

都市においても環境への負荷が低減される社会を構築する必要に迫られています。エコノミーからエコロジーへの社会的基準も見直されつつあり、これからは環境的価値観が問われることになるでしょう。

建物を管理するビルメンテナンの立場からも環境に配慮する取り組みが急務となってきています。捨てればゴミ、再利用すれば資源ともなりますので、先ず私たちにできることから始めていかなばなりません。環境に優しい街づくりも小さな積み重ねからだと思えます。

シンポジウム

日時：平成21年10月2日(金) 13:30～16:40

会場：九州エネルギー館

- | | | | |
|-------|---------------------|---|-------|
| 13:30 | 開会挨拶 | (社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長 | 金子 誠 |
| 13:35 | 来賓挨拶 | 福岡県知事 | 麻生 渡 |
| | | 福岡市長 | 吉田 宏 |
| | | 北九州市長 | 北橋 健治 |
| 14:00 | 趣旨説明 | | |
| 14:10 | シンポジウム | 福岡市環境局／KBC九州朝日放送(株)／NPO自然環境保護市民の会／ (社)福岡県産業廃棄物協会 福岡支部 (有)博南開発／ 福岡県環境部 | |
| 16:20 | 第2回子ども絵画コンクール入選作品発表 | | |
| 16:30 | 閉会挨拶 | (社)福岡県ビルメンテナンス協会 副会長 | 古賀 修 |

クリーンアップ 福岡

日時：平成21年10月2日(金) 10:30～12:00

場所：福岡県内主要都市中心部及び会員受託物件の周辺

内容：公共施設の清掃及びゴミ収集

第2回 子ども絵画 コンクール

作品展示：平成21年 9月28日(月)～10月4日(日)

展示場所：アクロス福岡1F コミュニケーションエリア

Message



(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長

金子 誠

ビルメン環境力による持続可能な
社会作りのために、資源循環と抑制
そして共存を考えましょう

近年の都市機能の高度化・多様化に伴い、そこで生活する人々や共存すべき自然環境とのアンバランスも顕在化している今日です。その「都市・ひと・自然」との調和ある結びつきを考え、住みよい街づくりに貢献する目的で創設されました『都市ビル環境の日』も本年で15回目を迎えることになりました。これもご後援を頂いております福岡県をはじめとする関係行政、ご協賛の諸団体、ご協力の協会員皆さま方のご指導・ご支援の賜であるとあらためて感謝申し上げる次第です。

今年も県内各地で公共の場の一斉清掃「クリーンアップ福岡」を展開し、街の美化活動に努めます。またシンポジウムでは「エコ都市への挑戦～あなたにもできるゴミリサイクル～」とテーマを定め、建物の維持管理に携わるビルメンテナンスの立場から省資源化に実践的に寄与できる方法論を模索します。今回は行政より福岡県環境部・福岡市環境局、関係団体からは産業廃棄物協会やNPO法人さらにビルオーナーなどの参加が企画されており更なる広がりや交流が期待されることです。今回シンポジウムはプログラム講演のみならず会場には環境保全活動団体のブースも設営され、そのリサイクル活動の実演も披露されます。また昨年より始めた「子ども絵画コンクール」にも多くの“都市環境の未来”への夢が届けられています。このように『都市ビル環境の日』行事の趣旨が、点から面へ、業界から地域へと発展していく段階に入ったことに着実な歩みを感じております。

本年の『都市ビル環境の日』が、“成長消費”社会から“持続循環”の環境調和社会への価値転換を促がす一助となれば幸いです。都市ビル環境の日に皆さまとお会いすることを楽しみに本年度行事運営にご尽力賜った各位へ感謝の意を表し、ご挨拶とさせていただきます。



福岡県知事

麻生 渡

循環型社会形成の重要性を
県民が認識するための
有意義な試みに期待します

「2009都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、昭和54年の設立以来、建築物の衛生的環境や安全性の確保を目指して関係業者の指導育成に尽力され、快適な都市環境づくりに貢献しておられることに深く敬意を表します。

また、全国に先駆け、平成7年から10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、シンポジウムの開催や公共の場の一斉清掃を行う「クリーンアップ福岡」の実施、子ども絵画コンクールなど、幅広く県民の建築物環境衛生への意識向上に努め、本県の環境衛生行政の推進にご協力いただいております。

高度経済成長は、私たちに豊かさや便利さを与えたと同時に、地球上の限られた資源を大量に消費し、廃棄物の不適正処理や環境汚染など社会経済活動の持続的な発展を阻害する事態をもたらしました。これらの流れに歯止めをかけるためには、資源循環型の社会システムへと変換を図ることが必要です。

福岡県では、ごみの発生抑制、再使用、再生利用によるごみの減量化、いわゆる3Rの推進や、廃棄物処理の適正化などに取り組んでいます。また、県民・事業者・行政が一体となって3Rに取り組んでいくための基本方針として、「ごみゼロふくおか行動指針」を策定し、指針に基づく取り組みを、広く県民の皆さんに呼びかけています。

このような中、貴協会が「エコ都市への挑戦」～あなたにもできるゴミリサイクル～を今年のシンポジウムのテーマに取り上げられることは、県民が循環型社会形成をより身近な問題として認識する上で、大変有意義なことです。会員の皆さんには、シンポジウムの成果を生かして、環境にやさしいまちづくりにご貢献いただきますことを期待しております。

記念行事のご成功と貴協会の今後ますますのご発展、会員の皆さんのご活躍を心から祈念します。



福岡市長
吉田 宏

環境問題について真剣に考え
行動する地域社会を
力を合わせて作りましょう

「都市ビル環境の日」の記念行事が今年も盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、日頃から建築物における衛生的で快適な環境づくりにご尽力され、多大な成果を収められています。また、毎年「都市ビル環境の日」には、建築物の衛生的環境の確保に関する諸問題を取り上げたシンポジウムの開催や、多くの会員の皆様に参加される「クリーンアップ福岡」での公園や歩道等の清掃活動に取り組まれていることに深く感謝申し上げますとともに、心から敬意を表します。

近年、快適性や利便性の追求により、「大量生産・大量消費・大量廃棄」という使い捨ての経済システムが定着し、日常生活や事業活動において、日々大量のごみが排出され、環境に対する様々な問題が生じています。ごみ問題を解決するためには、まず極力ごみの発生を抑制し、次に環境への負荷を考えながら、出るごみはできるだけ循環利用し、どうしても循環利用できないものについてのみ適正に処理するということが重要です。今こそ、環境問題について真剣に考え、行動する地域社会を作ることが大切であり、循環型社会を実現することが必要です。そのためには、生産・流通・消費・廃棄のあらゆる段階で環境に配慮した行動を行うなど事業者の自主的な取り組みが求められています。本市におきましても、一定規模以上の事業用建築物を対象に、廃棄物減量等推進責任者の選任や、廃棄物の減量等に関する計画書の提出等により、事業者の皆様による事業系一般廃棄物の減量・リサイクルの推進を図っております。

このように、建築物を管理するビルメンテナンスの現場における環境に配慮した様々な取り組みが求められる中、貴協会が「エコ都市への挑戦～あなたにもできるゴミリサイクル～」をテーマとしたシンポジウムを開催されますことは、大変有意義なことだと思います。

最後に、社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



北九州市長
北橋 健治

時宜に適ったシンポジウム
開催の成果があがりますことを
心から祈念いたします

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

(社)福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、創立以来、建築物の快適な環境と安全性を確保するため、関係業界の指導育成にご尽力され、多大なる成果を収められています。また、都市ビル環境の日には、「クリーンアップ福岡」として、各地の歩道や公園などで清掃・美化運動に取り組んでいただいております。深く感謝申し上げます。

ごみをめぐる問題は、私たちの生活や経済活動と切り離せない問題であるとともに、天然資源の枯渇や地球温暖化などの地球規模の環境問題につながっています。本市では、平成9年から進める「北九州エコタウン事業」とともに、平成18年には「家庭ごみ収集制度の見直し」に取り組み、ごみ減量やリサイクルの促進に成果をあげてきました。今後も、循環型社会の構築に向けて、ごみの発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)、さらに再生品の需要促進(グリーン購入)に至るまでの総合的な施策を展開してまいります。

一方、本市は、昨年7月に政府から、低炭素社会への転換に向けて高い目標を掲げ先駆的な取り組みにチャレンジする「環境モデル都市」に選定されました。その後、具体的な行動計画となる「北九州グリーンフロンティアプラン」を策定し、本年4月から新たな取り組みをスタートさせています。本プランは、「アジアの低炭素社会経済を拓く」をテーマに、低炭素街区の形成、省エネ型建築物の普及促進などによりストック型都市への転換を図るとともに、本市の取り組みを国内のみならずアジア諸都市に移転させ、アジア全体の低炭素社会の実現に貢献しようとするものです。

こうした中、貴協会が「エコ都市への挑戦」をテーマとしたシンポジウムを開催されますことは大変意義深いことだと思います。

結びに、(社)福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

シンポジウム参加企業・団体



KBC九州朝日放送(株)

ごみ減量・再資源化優良事業者
平成14年度最優秀賞受賞

(社)福岡県産業廃棄物協会 福岡支部
(有)博南開発

循環型社会の構築に向けた新たな取り組み
～事業系ゴミの固形燃料化事業～

福岡市環境局

ごみ削減取り組み事業と
環境市民ファンド事業について

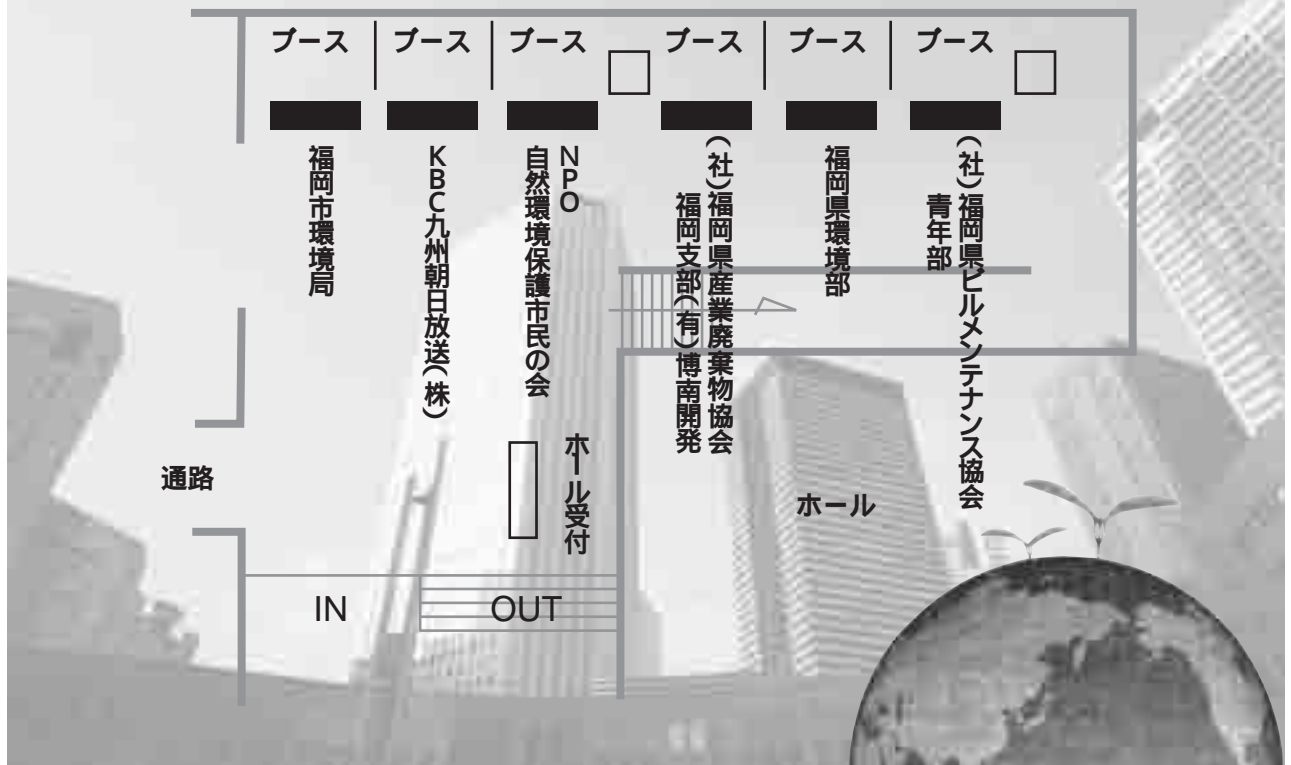
NPO自然環境保護市民の会

環境保護活動実施の紹介

福岡県環境部

待ったなし! 地球温暖化
～エコ事業所認証について～

シンポジウム参加企業・団体 特設ブース配置図



「クリーンアップ福岡」の
実施にあたって

県民の方々に向けた大切な行事です。
皆様のご協力をお願いします。

株式会社シンコー 仲前 友明

第15回「都市ビル環境の日」は、10月2日（金）に開催されます。今年も、10月4日実施のところ、日曜日のため変更になっております。

今年は、世界的に新型インフルエンザの猛攻に追われております。国内にも死者が出ており、我々業界としても、従業員が感染しないようにマスクの着用等の防御策を行い、ビル内では不特定多数の来訪者に対して、除菌用アルコール液を出入口に設置して水際対策を行うなど、目に見えない環境汚染に日々対応しております。

「クリーンアップ福岡」の清掃活動は、目に見える環境汚染に対処し、クリーンな気持ちを県民の方々にご伝える行事です。また、協会としても、公益社団法人化の船出に向けて、大事なイベントです。

会員の皆様、また各地区の担当者の方々、ご尽力の程宜しくお願い申し上げます。

第14回
「クリーンアップ福岡」
スナップショット

2008年10月3日実施分



会場案内図

九州エネルギー館

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目13-55
TEL.(092)522-2333



西鉄バス 城南線「南薬院」バス停
下車、徒歩約5分。
西鉄バス 浄水通「九電体育館前」
バス停下車、徒歩約1分。
地下鉄七隈線「薬院大通駅」下車
徒歩約5分。

主催

社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階
TEL (092) 481-0431 FAX (092) 481-0432

後援

福岡県

協賛

財団法人ビル管理教育センター
社団法人福岡ビルディング協会
社団法人福岡県警備業協会
社団法人福岡県産業廃棄物協会
社団法人福岡県建築士会
日本環境管理学会九州支部
社団法人高層住宅管理業協会九州地方支部
一般社団法人全国管洗浄協会
社団法人全国建築物飲料水管理協会福岡県支部
福岡県管工事業協同組合連合会
福岡県ペストコントロール協会
福岡ガラス外装クリーニング協会